

# 社会奉仕委員会



リーダー 柳瀬 治夫

ロータリーの「五大奉仕」の第3部門が、「社会奉仕」であり、社会奉仕は、すべてのロータリアンが、「超我の奉仕」を实践するもので、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。

当クラブは、創立以来、社会奉仕活動として、「青少年育成」「自然環境保護」「災害に備えて」等をテーマに、様々な社会奉仕活動を実施してきました。2016年からは骨髓バンク応援団「命の授業～救える命なら助け隊～」を地区ロータリー財団の補助金をいただいて推進してきました。また、創立30周年事業として始まった「夢を育むグリーン花壇造り」も、フジバカマの株分けや花壇の増設を行い、旅する蝶と呼ばれるアサギマダラの飛来により、高松市民にも喜んでいただいています。

「命の授業」につきましては、昨年度から、青少年奉仕委員会が担当することになりましたが、社会奉仕委員会としても引き続き協力していくとともに、今年度も、これまでの活動を発展させていきたいと考えております。今年度も、会員の皆様のご協力をお願いいたします。